

関西・大阪 文化力会議2012

アジアの文化の多様性こそが、
新たな価値創出や産業競争力の
源泉となる!

近年、著しい成長を遂げるアジア諸国にとって、その発展と安定を未来に向けて持続させるためには、文化こそが重要な鍵となります。今回は、そのために日本が選択すべき文化戦略や関西が果たす役割について議論を深めます。

4月25日開催!

参加
無料

テーマ：21世紀のアジア太平洋と関西(予定)

日時：2012年4月25日(水)9:45～17:30(予定)

会場：グランキューブ大阪(大阪国際会議場)

主催：(財)大阪21世紀協会、(株)大阪国際会議場、大阪国際フォーラム

後援予定：(公社)関西経済連合会、大阪商工会議所、(社)関西経済同友会、
経済産業省近畿経済産業局、国土交通省近畿地方整備局

基調講演(敬称略)

マハティール・ビン・モハマト
(元マレーシア首相)

「今こそ求められる日本の文化力」



1925年生まれ。シンガポールのキング・エドワード7世医科大学卒業、医学博士。開業医から、1964年に下院議員初当選。教育省大臣、副首相等を歴任し、1981年～2003年、マレーシア第4代首相。2003年、最高位勲章「SMN勲章」及び「トゥン(Tun)」の称号を受ける。

◆コメンテーター 谷内正太郎(元外務事務次官)

細川護熙

(元内閣総理大臣)

「歴史に学ぶ文化力」



1938年東京生まれ。朝日新聞記者を経て、衆参議員、熊本県知事、日本新党代表、内閣総理大臣を歴任。政界引退後、神奈川県の日野「不東庵」にて陶芸を始め、現在は書、水墨、油絵、漆芸なども手がける。近著「胸中の山水」(青草書房(2011年))ほか。

羅鍾一

(元駐日大韓民国大使・漢陽大学校国際学部碩座教授)

「アジア太平洋の安定と
発展のために選択すべき文化戦略」



1940年ソウル生まれ。ソウル大学校政治学科卒業、同大学院修了、英ケンブリッジ大学政治学博士号取得。慶熙大学校政治外交学教授、慶熙大学大学院長、駐英大使、大統領国家安全補佐官等を経て、駐日大使、又石大学校長(第10代)などを歴任。2011年9月より漢陽大学校国際学部碩座教授。

パネルディスカッション(敬称略・五十音順)

第1セッション「急成長する東アジアの光と影
— 生き残りをかけた日本の文化戦略」

国分良成 (慶應義塾大学 法学部教授)
佐藤茂雄 (京阪電気鉄道(株) 取締役相談役、取締役会議長)
萩尾千里 ((株)大阪国際会議場 代表取締役社長)
谷内正太郎(元外務事務次官)

【コーディネーター】

大林剛郎 ((株)大林組 代表取締役会長)

第2セッション「関西の文化力向上」

大竹伸一 (西日本電信電話(株) 代表取締役社長)
小出英詞 (住吉大社権禰宣)
近藤誠一 (文化庁長官)
鳥井信吾 (サントリーホールディングス(株) 代表取締役副社長)

【コーディネーター】

堀井良殷 ((財)大阪21世紀協会 理事長)

※出演者、テーマ等については予告なく変更する場合があります。

詳細内容・お申し込みは、大阪21世紀協会のホームページでご案内しています。
<http://www.osaka21.or.jp/event/bunkaryoku2012/>

お問合せ:財団法人大阪21世紀協会 事業チーム TEL:06-6942-2006 FAX:06-6942-5945
E-mail:bunkaryoku@osaka21.or.jp